

洗筆

米国の著名な微生物学者フレ
イザー博士の好著『失われてゆ
く、我々の内なる細菌』（山本
太郎訳）によると、ヒトの体は
おおよそ三十兆個の細胞からな
る。では、その体に、どれほどの微生
物がすみ着いているか▼何と、百兆個
だそう。つまり私たちの体は、自前
の細胞よりも、はるかに多い微生物で
成り立っている。その微生物の多様性
は驚くべきもので、遺伝子の総数はヒ
ト遺伝子の百倍以上になるといふ▼生
命のめぐりが幾重にも積み重なり、絡
み合つ。私たち一人一人の体内には、
そつう熱帯雨林のような複雑で豊か
な生態系がある、とフレイザー博士は
指摘する。しかし、その生態系が危機
に瀕している、と▼人類が抗生物質を
発見して、八十八年。抗生物質は結核
なども治す「奇跡の薬」として無数の
命を救ってきた。だが今や豚や牛など
家畜の成長促進にも使われ、そつした
過剰な使用が生態系に異変を起こして
いる▼抗生物質も効かぬ薬剤耐性菌が
次々生まれ、英国で発表された最新の
報告書は、このままだと二〇五〇年に
は強力な耐性菌のため世界で二秒に一
人の命が失われるようになると警鐘を
鳴らした▼注目は集めなかったが、伊
勢志摩サミットでは、抗生物質の使用
抑制のための協力強化も確認された。
「自分の内なる熱帯雨林」を守るため
に何ができるか。一人一人が問われる
時代が来たのだらう。

2016.5.31

あさ

2016年5月31日東京新聞